

## 莊河市及び大連日本産業園関連資料

### 一、莊河の魅力

莊河市は遼東半島東側の中部、黄海の北側に位置します。陸地面積 4086 平方キロメートル、海域面積 2900 平方キロメートル、海岸線延べ 285 キロからなります。人口 92 万。都市部 30 平方キロメートルあり、「中国中小都市科学発展トップ 100」と「中国で最も影響力を持つ中小都市トップ 100」に選ばれています。莊河は東北アジア経済圏の核心場所と北黄海の対外開放の最前方に位置し、東北経済開発区と黄渤海という二つの大きな経済開発区をまたがります。丹東大連高速と庄蓋高速、201、305 国道が瀋陽大連高速、瀋陽丹東高速に連なり、環状型的高速網が形成しています。遼寧浜海大通りが東西を貫いています。莊河港は中国の一級開放港であり、黄海、渤海沿岸は日本、韓国に最も近い港です。莊岫鉄道と設計時速が 250 キロの丹東大連快速鉄道が東北鉄道網に連なり、ロシアの極東地域に直結します。莊河は山川が綺麗で、風光明媚なところです。海、河、湖、山、林、泉、島、港という 9 大要素を一身に集め、中国東北地域以外のところでは見ることはできません。国家地質公園、4A 級氷峪観光レジャー地区では奇抜な石英地層とアジアで最も規模の大きい保存状態がもっともよい赤松林を以って世に知られています。海王九島レジャー地

域は「海上花の屏風」と称され、「中国優秀観光都市」の称号が贈られました。都市部は山と水が身近にあり、港に臨み、河と海が連なり、山と都市部が一体化し、気候が穏やかで心地よいです。中国東北地域でもっとも心地よい都市のひとつです。庄河の工業化が進み、体制が整っています。既に装備品生産、家具生産、食品加工などの有望産業を主とし、新エネルギー、静脈、化学繊維新材料など新型産業を柱とする現代工業のシステムが形成されています。「中国実木家具産業の基地」です。2030年に莊河市は都市部の人口が100万に達し、都市部の面積が239平方キロメートルに拡大すると予想されます。海に面したエコロジー特色のある生活便利で各種サービス完備の現代的で、ビジネスしやすい住み心地のよいガーデン都市及び北黄海地域の現代化エコロジー中堅都市、遼南区域の経済センター、物流センターと住み心地のよい海浜都市を建設します。

## 二、日本産業園の紹介

大連新興産業経済区総計画面積は54.5平方キロメートルでAとBエリアに分けられています。Aエリアは日本産業園区（別称臨港産業園区）と呼ばれ、Bエリアは新進装備製造業及び商業貿易製造業に属します。Aエリアは莊河市街区の南側に位置し、企画面積39.4平方キロメートル、港口物流、海洋工事及び修造船、新進装備製造業、ビジネス

スサービスエリアの「一園四つのエリア」とも呼ばれています。港に隣接しているため、新進装備製造業・現代商業貿易物流業・海洋工事・臨港産業・電子・新エネルギー・新材料等の新興産業を重点的に推進しています。Bエリアの企画面積は15.1平方キロメートルで、地理的に有利な条件で新進装備製造及び現代商業貿易物流業を重点的に推進しています。南は莊河市の都市部と連なり、東の丹東まで133キロメートル、大窑湾核心の港まで120キロメートル、大連周水子国際空港まで140キロメートル、大連市内まで145キロメートル、北側の瀋陽まで300キロメートルです。また現在拡大建設中の丹大城際快速鉄道ターミナルは園區の中に位置し、大連まで40分、丹東まで30分で到着できます。莊河市は大連市から一時間、遼寧省瀋陽から三時間の経済圏に入ります。更に莊河は従来から「大連のバックガーデン」と言われ、水・電力・人力資源が豊富で、経済区は沿岸の埋め立て地に建てられ、港に面し、本当の意味で経済区・港・町が一体となって連動して発展を続けています。本経済区の各項目のインフラ建設は既に完成されていて、尚且つ絶えず最適化されています。各企業の入園条件を十分に満たせると確信しています。

### 三、莊河の産業環境と工業部門別の紹介

莊河は中国黄海北部で開発・開放されている最前線の町です。人口は約92万人で、部落に河があることで莊河と呼ばれるようになりました。莊河県地域の経済基本競争力は中国の上位100県（市）の中で第44位に位置し、「中国中小都市科学発展トップ100」と「中国で最も影響力を持つ中小都市トップ100」に評価されていて、既に、遼寧省沿海経済地域黄海北部において投資の注目地になっています。莊河市及び各地方政府は工業企業の発展をととても重要視していて、絶えず莊河の産業環境の最適化に力を注いでいます。同時に、地域競争力を持たせるために、商業誘致・資本募集の優遇政策を制定しました。莊河では、既に整備製造・鑄造・電子・家具の4大産業群が形成されています。

#### 四、優遇策

##### （一）インフラ施設

土地：地域と用途により、それぞれの取得と開発土地の基準価格を20～30万元/ム一、また具体的な投資額により土地価格の優遇策が適用し、詳細内容について莊河市企業誘致優遇政策を参照する。

水、電気：工業団地の生活用水は1.6元/㎥とし、工業用水は3.2元/㎥とし、35-110キロボルトは0.516元/キロワット時、110キロボルト及びそれ以上の場合0.503元/

キロワット時とし、220 及びそれ以上の場合 0.493 元/キロワット時とし、ピーク時の電気料金は普段より 50%プラスし、谷底時の電気料金は普段より 50%マイナスする。

コスト：労働者の平均賃金は 2231 元/月、農村戸籍の人は 3 種類の社会保険を掛けるのみ、残り 5 種類の社会保険について、勤務先と個人の掛ける比率は次の通り：养老保险（20%/8%）、医疗保险（8%/2%）、失业保险（2%/1%）、劳灾保险 0.5%-1%、产児保险 0.8%、企業が納める住宅積立金の下限は最低給与の 10%即ち  $1100 \times 15\%$  となる。

資源：陸地域の面積は 4086 平方キロメートル、海域の面積は 2900 平方キロメートル、海岸線延べ 285 キロメートル、利用できる土地の空間が大きく、電力の資源が充分あり、現在中国最大規模のエコロジー海浜発電所を有し、充分な淡水資源があり、年間の淡水資源の総量は 18.8 億  $m^3$ 、充分な労働力が確保でき、市の人口は 92.3 万となり、市内にある各種企業により大量の技術者を培った。

工場：土地を購入して工場を建設してもよし、工業団地の標準的な工場建物を賃貸或いは購入することが出来る。

## （二）税金、各種費用

税金各種費用の減免及び返還について、莊河市企業誘致優遇策、各種行政雑費の付表を参照する。

## （三）奨励金及び補助金

奨励金及び補助金について、莊河市企業誘致優遇策を参照する。

#### （四）融資及びサービス

企業に融資支援と担保サービスを提供するように積極的に金融機関に働きかけるほか、プロジェクトの全ての手続きを代行するサービスを提供する。

### 五、莊河市企業の発展を促進する若干の意見

企業誘致と現存企業の発展をさらに促進し、プロジェクトの建設を速め、有望産業の競争力を高め、莊河経済を順調に発展させるため、本意見書をまとめた。

一、本意見書はわが市管轄地域にある工業、サービス業、観光業企業の新築、改築、増築プロジェクト及びわが市に納税する各種企業のプロジェクト（不動産開発プロジェクトが含まれない）に適用する。

二、莊河市に進出する工業プロジェクト（国家産業政策奨励分類と莊河産業群プロジェクトに合致する）に対し、地域別と業種別により確定した取得及び開発する土地価格の基準は 20～30 万元/ムーとする。投資実績が 150 万元/ムー以上に達し、譲渡方式土地取得する場合、企業の基礎建設或いは拡大生産用として、政府からプロジェクト支援金が与えられる。投資額が 10 億元以上のプロジェクトに対し、取得及び開発用土地価格は 5～7 万元/ムーとし、

地方政府に対し 6 年間税収の 50%を奨励金とし、投資額が 5 億元以上のプロジェクトに対し、取得及び開発用土地価格は 7~10 万元/ムーとし、地方政府に対し 5 年間税収の 50%を奨励金とし、投資額が 1 億元以上のプロジェクトに対し、開発用土地価格は 10~15 万元/ムーとし、地方政府に対し 3 年間税収の 50%を奨励金とし、投資額が 5000 万元以上の場合、取得及び開発用土地価格は 15~20 万元/ムーとし、地方政府に対し 2 年間税収の 50%を奨励金とし、投資額が 3000 万元以上の場合、地方政府に対し 1 年間税収の 50%を奨励金として与える。

産業団地のパイロット企業、先端技術企業、観光業、サービス業の企業に対し、更なる優遇する奨励策で対処できる。

上記奨励策は募集後奨励金を与え、企業が生産開始後実施する。

三、企業の本部、地区本部のわが市に設立することを推奨する。上記目的の用地申請に対し、優先的に年度土地計画に組入れ、建設用地の企画選定を優先的に行う。当該企業が正式にスタートしてから、現地政府の収益部分は莊河市進出企業を発展させるため、企業のインフラ建設費の補助金とする。企業の運営開始年度から、税収の地方収益実績から 50%を 4 年間企業発展金として企業に奨励する。

四、経済区範囲内で固定資産投資額が 3000 万以上の工

業プロジェクトが立ち上がる場合、本意見書の優遇策を享受するほか、産業園の関連優遇策が享受できる。

五、固定資産の投資額が5億元以上の工業プロジェクトにおいて、その企業の経営管理職、中堅技術責任者と莊河に入るハイレベル、先端技術を持つ人材に対し、個人所得税の内、莊河地方収益分の50%を3年間個人に交通・生活改善用奨励金として与える。

六、大学、研究機関、グローバル企業、投資会社と個人に対し、莊河で研究開発機関の設立を奨励する。単独で莊河で会社登録した会社に対し、その会社の投資規模と莊河経済の貢献度により適宜奨励する。

七、固定資産の投資額が1000万元以上で、且つ年間納める税金のうち、地方収益が20万元以上の工業プロジェクトの場合、賃貸で園區が立てた工場或いは賃貸で借りたのち購入した標準工場の賃貸料において3年間半分減免する。標準工場を購入する場合一定の割合で優遇する。

八、企業のレベルアップを奨励する。企業は伝統的な工業から新型工業に転換する際に、その投資額が1000万元以上の場合、50万元を限度に1%の割合で奨励金を与える。

九、製品の品質を高めるため、企業の技術改良を支援する。毎年工業企業から莊河市の10大技術優良製品を選出し、それぞれ5万元の奨励金を与える。

十、企業のインパクト拡大とブランド作りを支援する。



企業の生産規模、単一製品の市場占有率、財政貢献度、業種別に毎年莊河市の 10 大銘柄を選出し、それぞれ 5 万元の奨励金を与える。

十一、企業の海外進出を奨励する。毎年莊河市の企業から輸出により外貨創出の 10 強企業を選出し、それぞれ 5 万元の奨励金を与える。

十二、企業の株式上場を推奨する。上場でき且つ募集した資金の 70% が現地の建設、規模拡大に使用される企業に対し、上からの奨励のほか、建設プロジェクトが完成後、翌年 100 万元の奨励金を与える。

十三、地方財政への貢献を奨励する。年間納める税金が 1000 万元以上の企業に対し、15 万元の奨励金を与え、年間納める税金が 500 万元以上の企業に対し、10 万元の奨励金を与える。納税額が 10 位以内の企業に対し「納税 10 強」の名誉称号を与え、今後の発展に重点的に支援する。

十四、企業の視野拡大と創造理念を誘導し奨励する。市政府は企業発展研究基金として財政から毎年 200 万元を用意し、企業経営者の研修、勉強、視察コースを組み、企業自体の強化発展を支援する。

十五、積極的に金融機関に働きかけ、企業の融資と担保サービスを誘導する。

十六、外資プロジェクトの投資額は投資時点の為替で換算する。

十七、奨励金の関連条項について、市、郷（鎮、町）の  
二つレベルでそれぞれ実施する。